

## 外来より



## 《 食中毒に注意！！ 》

梅雨の時期から夏にかけては、食中毒に注意が必要な季節です。食中毒は一年中発生していますが、暑く湿気の多い季節は、食中毒の原因となる細菌の繁殖が活動的になるため、食中毒が発生しやすくなります。

夏に発生しやすい食中毒は・・・鶏肉や牛肉に付着する「腸管出血性大腸菌(0-157、0-111等)」、「カンピロバクター」です。

「腸管出血性大腸菌」・・・主に牛の腸にいる細菌です。牛の糞尿などを介して牛肉やその他の食品等に付着します。少量でも感染し、体内に入ると2日から7日位で発熱・激しい腹痛・水溶性の下痢・血便・吐き気・嘔吐などの症状が現れます。



特に抵抗力の弱い子どもや高齢者は、重い症状になりやすく、合併症を起こして死亡する例もあります。

「カンピロバクター」・・・鶏や牛などの家畜の腸にいる細菌です。生の鶏肉や牛肉に付着していたり、肝臓(レバー)の内部に存在しており、生肉に触れた手やまな板などから、他の食材に菌が付着します。少量でも感染し、菌が体内に入ると2日から7日位で発熱・下痢・腹痛・吐き気などの症状が現れます。



腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどの細菌は、家畜の腸にいる細菌なので、肉に付着する菌をゼロにすることは非常に困難です。ですが、これらの細菌は熱に弱いいため、十分加熱して食べれば、食中毒にはなりません。

手指やまな板を通じて細菌が付着した野菜などを生で食べたり、細菌で汚染された飲料水を飲んだりして、食中毒が発生する場合があります。生肉・魚・卵を触ったら手をしっかり洗い、まな板や包丁は必ず洗って熱湯消毒をし、清潔に保ちましょう。

## 食中毒を起こさないためには・・・

- ① 冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下に保つ
- ② 調理の前に石鹸で丁寧に手を洗う
- ③ 生肉・魚・卵を触ったら手を洗う
- ④ 生肉や魚を切ったまな板や包丁は必ず洗った熱湯消毒する
- ⑤ 肉や魚は十分に加熱。中心部分の温度が75℃で1分間が目安
- ⑥ 作った料理は長時間、室温に放置しない
- ⑦ 保存して時間が経ち過ぎたものは思い切って捨てる
- ⑧ 温め直す時は十分に加熱



この組織は、これからの日本を背負っていくであろう小学生に吸収力の高い小学校の時期から幅広い視野で物事を考え、将来のリーダーとして活躍できる人材を育成するというコンセプトでつくられた組織です。この組織の最高責任者は私の友人の新村優くんです。彼は福岡の出身で、大濠高校卒業後早稲田大学へ進学しました。彼はこの活動を通じて、日本の未来を切り開く人材を育てようとしています。実に素晴らしいチャレンジではないでしょうか。この教室で学んだ生徒たちが将来の日本の「人財」となっていくことを願っています。学習塾に通うのも結構、サッカーなどのクラブチームで頑張るのも結構だと思いますが、この「次世代の力教室」のような人間力を養い、リーダーシップを学ばせるような「人間塾」みたいなものこそがこれからは必要になってくるのではないのでしょうか。日本の基礎を創り上げた有能な歴史上の人物をたくさん輩出した吉田松陰の「松下村塾」の現代版ともいえると思います。現代の吉田松陰ともいえる市議会議員の新村優君をみんなで応援していければと思います。どうぞ「小学生次世代の力教室」を宜しくお願い致します。

2015年8月開講!!

### 第2回 小学生 次世代のチカラ教室

#### ●教室のコンセプト

『小学生市長』になったつもりで、  
FUKUOKAの未来と自らの挑戦について考える。

～わたしたちの街 FUKUOKAの未来を「自分ゴト」として考える～  
※「市長」とは、特定の市町村の首長を指すものではありません。

「人のために自分こそが!」  
未来への「勇気」と「挑戦」の心を育む。

～こどもたちの未来に勇気と責任を～

福岡の地元企業が集結して、  
こどもたちの未来への「がんばる!」を応援する。

～社会全体でこどもたちの成長・育成を支えるしくみづくり～

#### ●教室開催の目的

1. 広い視野でFUKUOKAの未来を考え、今後の行動と創造の契機としてもらう。
2. 自分のことだけでなく、社会に貢献していこうとする感性・価値観を養う。
3. 受講後、リーダーシップを発揮してもらい、こどもたち全体の意識の底上げを狙う。

#### ●教室開催の社会的使命

1. 一市民として未来社会を創っていこうとする意識・行動を社会全体に広める。
2. 受験勉強だけでなく、視野広い考えや行動・創造を育む場づくりの機運を高める。
3. 民間人材や企業を巻き込むことで、社会全体でこどもたちの育成を支える仕組みを創る。



#### 開催への想いと構想

「次世代につなぐ」いくということは、こどもたちに歩きやすいレールを引いてあげることでしょうか？

将来の社会で、彼らが自分たちの足でしっかり立って、協力しあいながら行動・創造していくことを応援することだと思っています。

本事業を通して、わたしたちの街 福岡の未来を考えることで、彼ら自身の「感じて、考えて、行動する」きっかけになればと願っています。

そして、本事業には、もうひとつ大きな目的があります。それは、社会全体でこどもたちの未来を応援するしくみづくりへの挑戦です。教室開催に

ご賛同いただく企業・団体様にご賛同いただくことで、福岡の街全体にこどもたちの「頑張る!」を応援しようとする気運を少しでも生み出せればと願っています。

教室開催へのご協力を心よりお願いいたします。



NPO 法人 次世代のチカラ FUKUOKA  
理事長 新村 優